

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- BLURRY OR ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLATED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY DARK BLACK AND WHITE PHOTOS
- UNDECIPHERABLE GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

DERWENT-ACC-NO: 1997-315757

DERWENT-WEEK: 199729

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Line indication reading appliance for page and line marking when reading books - has display mechanism in bottom clamp body to display right and left page partitioning of book with number of lines on specific page

PATENT-ASSIGNEE: IKOSHI M[IKOSI]

PRIORITY-DATA: 1995JP-0287301 (November 6, 1995)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES
MAIN-IPC			
JP 09123639 A	May 13, 1997	N/A	005
B42D 009/00			

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP09123639A	N/A	1995JP-0287301
November 6, 1995		

INT-CL_(IPC): B42D009/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP09123639A

BASIC-ABSTRACT: The appliance consists of a top clamp body (2) fixed to slide along the axial direction inside a hollow cylindrical body (1) of predetermined length. A bottom clamp body (3) is fixed to the lower end of the cylindrical body. A tension spring (5) is installed between a couple of stopper pieces (12) to shrink elastically between the top and bottom clamp bodies. A pair of opposing clamp hooks (4) are provided at the bottom of the top and bottom clamp bodies to individually clamp the upper and lower edges in the binding part of the book from below between the papers.

A display mechanism (6) is provided in the bottom clamp body to display the right and left page partitioning of the book with the number of lines of a specific page. A steel wire (9) is provided with a guide rail (10) which has a magnetic knob (11) installed to slide vertically in the periphery of the cylindrical body. A magnet (13) is set in the top clamp body as an option.

ADVANTAGE - Serves as bookmark for remembering line and page where reading was discontinued previously. Facilitates accurate recollection of last page and line when reading after temporary interruption. Relieves

**reader from scare of
unexpected dropout. Facilitates addition of page turning
mechanism in play
core.**

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/3

TITLE-TERMS:

**LINE INDICATE READ APPLIANCE PAGE LINE MARK READ
BOOK DISPLAY MECHANISM BOTTOM
CLAMP BODY DISPLAY RIGHT LEFT PAGE PARTITION BOOK
NUMBER LINE SPECIFIC PAGE**

DERWENT-CLASS: P76

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1997-261458

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-123639

(43)公開日 平成9年(1997)5月13日

(51)Int.Cl.⁶
B 4 2 D 9/00

識別記号

府内整理番号

F I
B 4 2 D 9/00

技術表示箇所

E

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全5頁)

(21)出願番号 特願平7-287301

(22)出願日 平成7年(1995)11月6日

(71)出願人 595039209

井越 正行

神奈川県川崎市川崎区観音1-10-11-
222

(72)発明者 井越 正行

神奈川県川崎市川崎区観音1丁目10番11号
~222

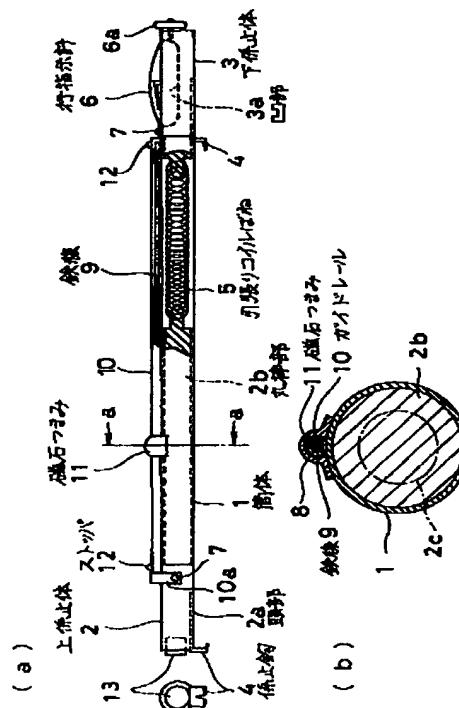
(74)代理人 弁理士 丹羽 宏之 (外1名)

(54)【発明の名称】 行指示読書器具

(57)【要約】

【課題】 個人が読書の際、一時的に読書を中断する場合、次回の読書再開時、前回の中断箇所の頁及び行を適格に指示し得る不時の脱落等の怖れのない行指示読書器具を提供する。

【解決手段】 このため、一実施例においては、中空円筒体1内を長手方向に摺動し得る上係止体2と、前記円筒体1の下端部に固着した下係止体3により成り、前記上／下係止片2／3間には、引張りコイルばね5を介装すると共に、両係止体には、それぞれ一対の対向する係止鉤4を設け、下係止片3には、読みかけの頁及び行数を指示するための行指示計6を、また、円筒体1の外周の長さ方向に磁石つまみ11を有する鉄線9入りガイドレール10を設け、さにオプションとして、上係止体2の頂部には、磁石13を固設した。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 所定長の中空筒体内に、長手方向に摺動可能に嵌入された上係止体と、前記中空筒体の下端部に固設された下係止体とより成り、前記上係止体と下係止体との間には、弾性的に収縮するばね手段を介装し、前記上係止体及び下係止体のそれぞれ上端部には、一冊の本の葉紙間においてその本の綴じ部の上下方向から互いに対向して係止するための一対の係止鉤部を具備すると共に、前記下係止体には、前記本の左右頁区分及び1頁の行数を表示するための表示手段を備えたことを特徴とする行指示読書器具。

【請求項2】 所定長の中空筒体内に、長手方向に摺動可能に嵌入された上係止体と、前記中空筒体の下端部に固設された下係止体とより成り、前記上係止体と下係止体との間には、弾性的に収縮するばね手段を介装し、前記上係止体及び下係止体のそれぞれ上端部には、一冊の本の葉紙間においてその本の綴じ部の上下方向から互いに対向して係止するための一対の係止鉤部を具備すると共に、前記中空筒体の外周長さ方向に沿って、内部に鉄線を有するガイドレール部材を備え、このレール上を長さ方向に摺動可能の磁石つまみ手段を備えたことを特徴とする行指示読書器具。

【請求項3】 請求項1に記載の行指示読書器具において、前記中空筒体の外周長さ方向に沿って、内部に鉄線を有するガイドレール部材を備え、このレール上を長さ方向に摺動可能の磁石つまみ手段を備えたことを特徴とする行指示読書器具。

【請求項4】 請求項1ないし3のいずれか記載の行指示読書器具において、前記上係止体の頂部に、磁石片を固設したことを特徴とする行指示読書器具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、個人が読書時に、その本の途中の前回の読みかけ頁部分を示す従来の“しおり”の機能に加えて、少なくともその頁の行の指示も可能な読書器具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、個人が読書の際に一時的に読書を中断する場合には、次回の続行に備えて、その中断個所の見開きを容易にするために、本来その書物に目印紐等が具備されている特殊な場合を除き、一般的には、葉(しおり)や他の紙片等を当該頁間に挟んで目印とすることが通例である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、これ等のしおり類は、その挟んだ場所の左右いずれの頁かが明確でなく、また本の稼動や取扱い時に脱落したり紛失したりし易く、前回読み掛けの場所を探すのに時間を要していた。また、稀には、例えば、その頁の一隅を折曲げて目印とすること等も行われているが、その葉の表/裏

2

頁の区分も不明確であり、また、前記何れの場合にも、譬え前回読み掛けの頁のみが分かっても、その頁内のどの行かを探すために、その付近の前後の個所を、ざっと眼を通して探す必要があった。

【0004】本発明は、以上のような局面にかんがみてなされたもので、従来のしおり類のように、不時に外れたり、紛失したりする怖れがなく、確実に前回読み掛けの頁及びその行数を即時見出すことのできる行指示読書器具の提供を目的としている。さらににまた、オプションとして、遊び心を加えた頁めくり手段の提供を目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】このため、本発明においては、この種の行表示読書器具を、所定長の中空筒体内に、長手方向に摺動可能に嵌入された上係止体と、前記中空筒体の下端部に固設された下係止体とより成り、前記上係止体と下係止体との間には、弾性的に収縮するばね手段を介装し、前記上係止体及び下係止体のそれぞれ上端部には、一冊の本の葉紙間においてその本の綴じ部の上下方向から互いに對向して係止するための一対の係止鉤部を具備すると共に、前記下係止体には、前記本の左右頁区分及び1頁の行数を表示するための表示手段を備えたことを特徴とする行指示読書器具。

【0006】

【作用】以上のような本発明構成による読書器具を使用することにより、前記読みかけの本の頁及びその最終行を確実に指示することができるため、次回の読書の続き部分を即時に見出しができる、また、この器具は、本に確実に弾性保持されるため、従来のように紛失する怖れがなくなる。

【0007】さらにまた、頁めくり用磁石を本器具に装着することにより、頁めくりに遊び心を導入することもできる。

【0008】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施の形態を、複数実施例にもづいて詳細に説明する：

【0009】

【実施例】

(第1実施例)図1に、本発明に係るすべての構成要素を具備した読書器具の第1の実施例の長手方向一部断面側面図及び(a)図に、その端面図、また(b)図に図1のa-a部における拡大断面矢視図を示す。

【0010】〈構成〉本実施例の読書器具の主体は、中空円筒体1、その内部に嵌入されて、長手方向に相互に摺動し得る上係止体2及び、円筒体1の下端に固設された下係止体3より成る。ここに、各係止の上／下は、それぞれ本の上／下方向を意味している。

【0011】上係止体2は、円筒体1と略々同一外径寸法を有する円柱状の頭部2aと、円筒体1内径を軸方向に摺動し得る直径の丸棒部2bとより成る。なお、この丸棒部は、(a)図に破線2cで示すような中空体であってもよい。

【0012】頭部2aの先端部円周の一部には、本の背の綴じ部の上端部に係止するための係止鉤4が固設されている。

【0013】一方、下係止体3は、円筒体1の下端に固設されて、その接合部に本の背の前記綴じ部の下端部に係止するための係止鉤4が、前記上部の係止鉤4と対向的に接着固定されており、この一対の係止鉤4間の距離は、対象とする本の縦長さより若干短い寸法に選定されている。

【0014】また、この下係止体3の上方先端部と、上係止体2の丸棒部2bの下方先端部間には、互いに適当の弾性張力を有する引張りコイルばね5が係止されており、上係止体3の頭部2aの下端部を、円筒体1の上端部に当接偏倚させている。

【0015】さらにまた、下係止体3には、切り欠き凹部3aが設けられ、後述する行指示計6が小ねじ7等により固設されている。6aは、行指示計6の操作つまみ(龍頭)を示す。

【0016】また、円筒体1の外面には、(b)図に示すように、長手方向中心線に沿って、例えば、プラスチック製の筒状の突起部8が固設され、その内部には鉄線9が配設されている。また、突起部8の外側には、略C形断面のガイドレール10が被覆され、その上端部は、押え具10aにより、上係止体2の頭部2aの下端部に固定されている。

【0017】また、ガイドレール10上には、レール外形に係合し、それに沿って長手方向に指先によりまさつて摺動し得る1個の磁石つまみ11を備えており、指を離すと鉄線9との磁気作用により、その位置に静止するよう構成されている。

【0018】また、ガイドレール10の上端部及び突起部8の下端部には、それぞれ磁石つまみ11の移動制限用の各ストップ12が凸設されている。

【0019】また、図2に、指示計6の正面図の一例を示す。6bは文字盤で、上下にそれぞれ行数0位、左右にそれぞれ左／右の頁を示す記号L, Rが記入され、L及びRのそれぞれ上／下の間は0～15の行数字が記入されている。

【0020】6cは、つまみ(龍頭)6aによって作動する指針で、通常の腕時計のように、つまみ6aを引き

出すと指針6cを回転作動でき、これを押し込むと不作動となるよう構成されている。

【0021】なお、図1において、上係止体2の頭部の頂部には、後述する頁めくり用の磁石片13が埋設されている。

【0022】〈動作〉つぎに、図1, 2を用いて本実施例の動作を説明する：図1は、この読書器具が単独の静止状態を示すもので、上／下係止体2／3は、それぞれ内部のばね5により、互いに対象とする本の縦長さより

10 若干短い長さに、上／下係止鉤4間の距離が一杯に収縮された状態で、筒体1内に収まっている。

【0023】使用に際しては、読書者は、この器具を握み、開いた本の背部の所要頁間の綴じ部上部に上係止体2の係る鉤4を引受け、次いで、下係止体3を引張って下方の係止鉤4のを、本の背部の綴じ部下部に引掛け手を放すと、ばね6の弾性により、器具は、前記所要頁間に確実に弾性保持される。この読書器具は、適当な全長及びばね5寸法の選択により、本の所定サイズの範囲に適応使用することができる。

20 【0024】この際、読書中断箇所を記憶保持するため、行指示計6を用いて、見開き頁の左右を、文字盤のL／Rで、またその行数を、それぞれ上／下の0点とL／R間の数字に合わせる。その本の横書きが、縦書きかまたは2段書きか等に応じて、適宜に使い分けることができる。

【0025】なお、この行指示計6は、必ずしも図例のような時計形式のものに限定されることなく、例えば指針を直接に指先で操作するような形式または他の形式の表示手段であっても差支えない。

30 【0026】また、特に横書きの本の場合は、磁石つまみ11を該当行の箇所に合わせるよう摺動して表示することも可能であり、またこの磁石つまみ11は、一時的な行保持や、適当な追い読み等に利用することもできる。

【0027】以上により、本実施例の器具は、不時の脱落の怖れなく、即時、読書再開時の必要箇所の頁と行とを確実に読み手に知らせることができる。

【0028】なお、上係止体2の頭部2a頂部の磁石片13は、遊び心を兼ねて、各ページ葉をめくることができるようとしたもので、本の各頁には、予め超薄形の円形の鉄粉シートラベル等を、各葉の一隅部に貼付しておいて使用するようにしたものである。

【0029】(第2実施例)図3に、本発明に係る読書器具の第2の実施例の前記図1相当図を示す。この実施例は、前記第1実施例の上／下係止体2／3の円形の横断面形をそれぞれ薄形矩形状にしたもので、その発明構成の要旨は、第1実施例と全く同様であり、図1におけると同一(相当)構成要素は、同一(または相当)のA符号を付し、自明であるため、特に重複説明は省略する。なお、上／下係合体間の相互連結用ばねは、図3に

5

おいては、ゴムバンド5 Aとした図例を示す。

【0030】(他の実施例) なお、第1/第2実施例に採用した、各構成要素の各図例は、それのみに限定されるものでなく、例えばその材質、形状、組合せ、取付け方法、もしくは意匠等、本発明の要旨に沿うものであれば、種々の変形を使用し得ることはもちろんある。

【0031】

【発明の効果】以上説明したように、本発明に係る行指示読書器具によれば、読みかけの本を一時中断して、次回に読む際に、前回の最終ページ及び行を、時間を要すことなく正確に指示することができ、また不時に脱落の怖れがない。

【0032】さらに、また希望により遊び心の頁めくり手段をも付加することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 第1実施例の長手方向一部断面側面図、端面図及び拡大横断面図

【図2】 指示計の一例の正面図

【図3】 第2実施例の図1相当図

【符号の説明】

1 円筒体

6

1 A 薄形矩形筒体

2 上係止体

2 a 頭部

2 b 丸棒部

3 下係止体

4 係止鉤

5 引張りコイルばね(弾性ばね手段)

5 A ゴムバンド(弾性ばね手段)

6 行指示計

10 6 a つまみ(龍頭)

6 b 文字盤

6 c 指針

7 小ねじ

8 突起部

9 鉄線

10 ガイドレール

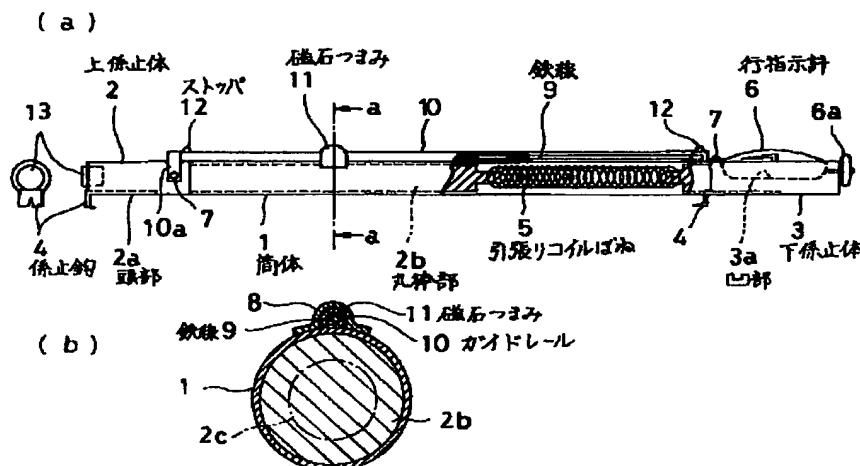
10 a 押え具

11 磁石つまみ

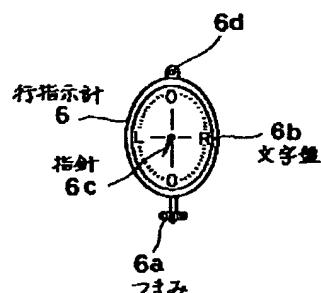
12 スtopパ

20 13 磁石片

【図1】



【図2】



【図3】

